

2025 年度大学一般選抜第 1 回・
短大一般選抜（共通）
問題と解答

試験科目・配点

試 験 科 目	時 間	配 点
英語（英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、論理・表現Ⅰ）	50分	100点
国語（現代の国語、言語文化（古文・漢文を除く））	50分	100点

英語

I. 次の長文を読んで、各問いに答えなさい。

①Most people know that it is possible to recycle many things. If you recycle your old glass bottles, people can use them to make new glass bottles. If you recycle plastic bottles, factories can make new bottles from the old plastic. The newspapers you read are probably made from recycled paper too.

②But did you know that recycling can also be a way to make many other unusual and beautiful things?

③In many places people are thinking of different and exciting things that they can make from recycled materials.

Paper can be recycled in many different ways. If you (ア) around an office or a kitchen or a bathroom you will probably see different kinds of recycled paper : writing paper, computer paper, and even the pretty paper that we put our presents in.

But recycled paper can be used in more unusual ways too. For example it is sometimes made into a special material to keep houses warm. This material is put inside the roof, and ④it stops the warm air from the house from escaping through the roof. The people (イ) live in the house stay warmer in winter and they use (ウ) electricity to heat their home.

Did you know that paper is also used to make roads? The top part of a road contains recycled paper. It helps to stop road accidents because it (エ) roads safer in wet weather. It is used at airports too for the same reason. It helps the planes to land safely when the weather is wet.

【出典】

Recycling by Sue Stewart

1. 空所（ア）～（エ）に入る最も適切な語句を選び、記号で答えなさい。

- （ア） a. take b. see c. look d. have
（イ） a. who b. whom c. whose d. which
（ウ） a. few b. less c. much d. more
（エ） a. allows b. enables c. causes d. makes

2. 下線部①を和訳しなさい。

3. 下線部②を和訳しなさい。

4. 下線部③を和訳しなさい。

5. 下線部④はどのような意味か。最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 屋根にリサイクルペーパーで作られた材料を設置すれば、家から暖かい空気が外へ出る。
イ 屋根にリサイクルペーパーが原料の素材を取り付けなくても、家の暖かい空気は逃げない。
ウ 屋根にリサイクルペーパーが原料の材料を設置すると、家の暖かい空気は外に出ない。
エ 屋根にリサイクルペーパーが原料の素材を取り付けなくても、外からの冷気は入らない。

6. 本文の内容と合致するものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 新聞にはリサイクルペーパーは使われていない。
イ リサイクルペーパーは贈り物の中に入れるきれいな紙に使われることがある。
ウ 道路の中には底の部分に、リサイクルペーパーが使われているものがある。
エ 空港で使われているリサイクルペーパーが、飛行機が安全に離陸することを助ける。

II. それぞれの空所に最もよく当てはまる語句を選び、番号で答えなさい。

1. I () often go to the zoo with my mother in my childhood.
① used ② might ③ would ④ should
2. The day will come () you will understand the value of your parents.
① why ② when ③ which ④ what
3. I had difficulty () the device properly.
① used ② to use ③ to using ④ using
4. Mary is () than she used to be.
① less rich ② not rich ③ rich ④ the least rich
5. Tom () on the TV to watch a baseball game.
① got ② turned ③ took ④ made
6. () I want to study abroad, I will apply to an English conversation school.
① Although ② Despite ③ Unless ④ Since
7. Ken was () with his new car.
① please ② pleasing ③ to please ④ pleased
8. Anne () me waiting at the coffee shop for about an hour.
① reminded ② left ③ remained ④ got
9. I know the museum () the painting is exhibited.
① where ② what ③ which ④ why
10. () her warm personality, she is very popular at work.
① Thank for ② Thank to ③ Thanks to ④ Thanks for

Ⅲ. AとBの会話が自然なやりとりになるように、空所に入れるのに最も適切なものを選び、番号で答えなさい。

1. A : How long will it take to get to Okayama?

B : ()

- ① I have lived there for five years.
- ② I have visited Okayama three times.
- ③ I will take the train to get there.
- ④ It will take two hours by car.

2. A : Do you know who wrote this article?

B : ()

- ① It has been read by many people.
- ② Mr. Suzuki did.
- ③ That is a great article.
- ④ It dealt with environmental issues.

3. A : May I help you with your work?

B : ()

- ① That work is wonderful.
- ② I can't help you.
- ③ Thank you. I would appreciate it if you could do that.
- ④ You are welcome.

4. A : Would you be able to come to the party?

B : ()

- ① Certainly. I'm going to go hiking with my family tomorrow.
- ② No, you wouldn't.
- ③ Of course. I'd be happy to.
- ④ It is a birthday party.

5. A : What do you think of Jane?

B : ()

- ① She went to London on a business trip yesterday.
- ② Yes, I like her.
- ③ No, I don't think so.
- ④ She is a sensible person.

Ⅳ. 日本文と同じ意味になるように () 内を並び替えたとき、() 内で2番目と4番目にくるものの番号を答えなさい。ただし、文頭に使う語も小文字で書かれています。

1. その英語教師の助言により私は海外留学を決心した。

The advice from the English teacher (① study ② me ③ abroad ④ decide
⑤ made ⑥ to).

2. 学生の時、いくら勉強してもしすぎることはない。

You (① too ② study ③ can ④ much ⑤ never) when you are a student.

3. 私には父親がニューヨークで暮らしている友人がいる。

(① lives ② have ③ friend ④ father ⑤ a ⑥ whose ⑦ I)
in New York.

4. 彼は暇な時は小説を読んで時間を過ごした。

He (① reading ② his ③ time ④ spent ⑤ free) novels.

5. この建物はあの建物より10メートル高い。

This building (① that ② ten ③ taller ④ is ⑤ than ⑥ meters)
one.

模範解答

I.

1.

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
c	a	b	d

2. ほとんどの人は多くの物をリサイクルすることは可能だと知っている。

3. しかし、リサイクルすることは、他の多くの珍しく美しい物を作るための方法でもありうるということを知っていましたか。

4. 多くの場所で、人々はリサイクルされた材料から作ることができる様々なわくわくさせる物を考えています。

5.

ウ

6.

イ

II.

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
③	②	④	①	②	④	④	②	①	③

III.

1	2	3	4	5
④	②	③	③	④

IV.

1		2		3		4		5	
2 番目	4 番目	2 番目	4 番目	2 番目	4 番目	2 番目	4 番目	2 番目	4 番目
②	⑥	⑤	①	②	③	②	③	②	③

国語

一次の文章を読み、後の問いに答えよ。(設問の都合上、文章の一部を改変してある。また、設問の都合上、各段落の冒頭に番号を付してある。)

①自分のやっていることに意味があるのか。自分に存在価値があるのか。大切なものを探しているけど、まったく見つからない。何をやっても、砂をかむようで、苦く味気がない。徒労感を覚え、心にぼつかりと穴があき、そこを風が吹き抜ける。むなしい――。

②現代を生きる誰もがそんな感覚を抱いた経験があるでしょう。もちろん私にもあります。むしろ、私はそうした感覚にピンカン^①だったように思います。むなしいと感じることが、昔から多くありました。その感覚に襲われて、若いころかなり苦しんだこともあります。いったい、何のためにこんなことをやっているのか、自分のやってきたことは全部、無意味だったのではないかと。そして、何度となくため息をつく。

③最近になって私は、それが生きていくうえで普通の感覚なんだろうとも感じてきました。そんな感覚に襲われないうちに越したことがないとは思いつつも、でも、これも喜怒哀楽の一つであり、なくすことはできないのだろうと。

④ところが、この「むなしさ」という感覚について他人に話してみると、否定的なハンノウ^②をされることが多いのです。そんな感覚に襲われることは、無駄なことであり、恐ろしいことであり、要するに、あつてはいけないことのように思われています。

⑤でも私にとって、むなしいと感じるということは、立ち止まって、自分を見つめ直すことでもあります。確かに、現代社会をみまわしてみると、こうした場や機会を回避しようとするのが普通のようなのです。

⑥たとえば、電車に乗れば、ボーッと窓の外を眺めている人はずいぶんと少なくなりました。皆、スマホに釘付けです。スマホというのは、本当に便利なものです。文字も音楽もエイゾウ^③も果てしなく与えてくれる。欲しいものを探して、手に入れることも一見、簡単にできるようにみえる。ふと立ち止まって、自分を

見つめたり、いろいろ考えたりしなくてもいいわけです。暇な時間を埋めてくれて、気を紛らわしてくれる。

⑦すなわち「間」^④というものを埋めてくれる。むなしい「間」が生じないように回避してくれるのです。スマホに限らず、私たちの周囲には、ジョウホウ^⑤であり、商品であり、娯楽スボットであり、「間」を生じさせないような仕組みがはりめぐらされています。かつては、「間」をつぶすのに、たとえば、タバコを吸ったり、お酒を飲んだりして、ふとため息をついたりもししていました。^⑥こうした「間」のアナログな使い方と、スマホで「間」をデジタル的に埋めるのは違うでしょう。

⑧いまや、「間」^⑦があいたことを感じるものがとても少ないのです。同時に、街からも「間」はカクジツに消えていつています。かつてはどこにでもあり、子どもたちが遊んでいた空き地などはどんどんなくなっています。利用されていない無駄な土地として活用することが主張され、マンションが建てられたり、商業施設が建設されたりと、利用目的が与えられて明示される。都会などでは、何の飾り気もない白い壁、意味のなさそうな空き地などもなくなり、広告や看板などに埋め尽くされている。何の目的もない、ただあるだけという「間」は、存在してはいけないかのように、どんどんと埋められているのです。

⑨こうした環境の中で、私たちはむしろ「間」^⑧というものに対して極めて弱くなっているのではないのでしょうか。「間」が存在しないよう周到に回避されているために、ある日突然それでも埋めることのできない「間」が現れたとき、私たちの心は戸惑ってしまうことでしょう。どう対処していいのかかわからず、耐えら

れなくなってしまうでしょう。現代において、「間」は悪いものであり、とてつもなく怖いものとなっているようです。

⑩そこで、私のことを振り返ってみると、私は「間」を比較的うまく使ってきたように思います。歌が生まれるのは、たいてい旅の途中だったりします。夜行列車に乗って、朝、目的の駅に着くまでの間や、何もすることがない電車の移動中。飛行機の出航が遅れて、飛行場でひたすら待たされているとき。あるいは、台風で飛行機が欠航となり、もう一日、ホテルに泊まらなければならなくなったとき。そうしたときに、歌が多く生まれてきました。

⑪私に限らず、芸術にしろ、あるいは何らかの発明にしろ、クリエイティブなものが、こうした「間」から生まれてきたという例はたくさんあるように思います。

⑫英語に「kill time (キル・タイム)」という表現があります。「暇をつぶす」という意味ですが、そこには、本来、アを生むはずの「時間(タイム)」を無駄に「殺す(キル)」という意味が含まれています。つまり、「time is money (タイム・イズ・マネー)」という慣用句があるように、時間は生産的なイを生むものとして使うべきという考え方がうかがえます。しかし、私はけつて歌で時間の穴埋めをしているだけではなく、嬉しいことに歌づくりで自分が最も自分らしくなれるのです。

⑬そういうふうに「間」からクリエイティブな体験が生まれる場合、何か目的をもって、その「間」を過ごしているわけはありません。私は目的もなく、「間」から生まれてきたものが、実は大きなウをもっているかもしれないと思っています。もちろん良い歌が売れるわけでもなく、今の私は売れる歌をつくるために歌づくりをしているわけでもないのです。しかも、作品の価値がわかるのにも、すごく時間がかかるかもしれない。

⑭不遜な比較ですが、ゴッホなどのように、生きている間に自分の作品が評価されることなく、死後、高い評価を受けることになった芸術家はたくさんいます。むしろ、多くのクリエイターが生前に高い評価を受けるようになったのは、現代になってからともいえます。

⑮でも、「間」をあつてはいけないものとして、次々と埋めていくような現代社会の中では、「間」から自分らしくてクリエイティブなものが生み出されたり、それが評価されるまでの長い「間」に耐えるという機会も、どんどん失われていっています。

⑯私が行なっている精神的臨床の場でも、「間」に苦しんでいる患者さんは少なくありません。「間」が生じて、ふと自分のことを見つめ直す瞬間が訪れ、そこに悩みが生じる。暇になると、過去の苦しい経験が次々と心に浮かび、自分が価値のない人間に思えてしまう。自分の人生が、とてつもなくエと感じられてしまい、そこに吸い込まれる漠然とした不安や異常な考えで心を病んでしまう。だから、「間」が生じるのをとても恐れている。

⑰「間」は、クリエイティブなものなどを生み出す可能性を秘めている一方、容易に「魔」にも転換してしまう危険性があります。ふとしたきっかけで悪事に手を染めてしまうことを「魔が差す」といいます。その「魔」です。

⑱こうした患者さんに限らず、「間(魔)」を恐れ、それを埋めるために過度にアルコールを摂取したり、危険なドラッグに手を出してしまったり、という例も少なくありません。「間」を消そうとするために、逆に、自分の人生そのものをつぶしてしまっているともいえます。つまり、「間」は扱い方によっては深刻な

問題を引き起こす可能性があり、だからこそ、「間」というものを知り、それにどう向き合うかは、人が生きていくうえで、とても大切なことなのです。特に、あらかじめ「間」を存在してはいけないうものとして、「間」に向き合う機会を失っている現代においては、これについて語り考えることは重要でしょう。

⑮突然、訪れた「間」にどう対処してよいかわからず、大きな「むなしさ」が訪れ、立ち直れなくなってしまう。そうならないためには、どうすればよいのか。私が、本書を書こうと思った要因は、そんなところにもあります。

⑯この「間」や「むなしさ」を考えるうえで、私がかつて芸能活動に身を置いていたという経験も、役に立つように思います。私が医学生だったとき、まさに神様のいたずらともいえるような形で、芸能界にデビューしました。

⑰観客、聴衆から大変な熱狂を受ける華やかな表舞台。しかし、ひとたび、表舞台を降りれば、先ほどまでの熱狂はなく、ごく普通の日常が広がる。そこに大きな「むなしさ」が訪れます。あの熱狂は何だったのだろうか、どこへ行ってしまったのだろうか。表舞台の自分と舞台を降りた後の自分とどっちが本当の自分なのだろうか。そして、熱狂を受けていない、日常の自分に価値があるのだろうか。

⑱表舞台と舞台を降りた後、すなわち裏舞台との大きな落差から生じる「むなしさ」に、バンドの仲間たちも苛まれ、私とともに苦しんだという経験があります。

⑲表と裏、その両方を眺める見方をすれば、ごくつまらない、もしくは悲惨な日常を過ごしていても、舞台の上では明るく、華やかにふるまい、観客や聴衆を喜ばせて、輝いていることが求められます。よく、芸能という仕事は、親の死に目にも会えないなどといわれますが、日常という裏舞台と、輝かなければならない表舞台との落差・ギャップがとても激しいのです。

⑳そして、このギャップに耐えられずに、舞台上の役割や、舞台を降りた後の日常にとってもない「むなしさ」を感じてしまうケースも少なくありません。ミュージシャンなど芸能人が違法な薬物に手を出したり、自死してしまったという報道が繰り返されますが、そこには、こうした大きなギャップが関係しているように私には感じられます。

㉑こうしたギャップは、よくピエロの存在にたとえられます。白塗りに笑顔のメイクをしたピエロは、サーカスという華やかな舞台でおどけて、ひたすら観客を笑わせる役割を担っています。ピエロを演じている人間のつらい体験、苦しい思いは、笑顔のメイクとおどけによって覆い隠されています。

(出典…岩波新書　きたやまおさむ『「むなしさ」の味わい方』より)

問一 傍線部①～⑤のカタカナを漢字に改めよ。

問二 傍線部(A)について。「それ」を具体的に表現した箇所を本文中から十字以内で抜き出して答えよ。

問三 傍線部(B)について。アナログ的に「間」を使う場合と、スマホでデジタル的に「間」を埋める場合の違いはどういう点にあるか。解答欄の「」内に入るべきことばを本文中から三十字以内で抜き出して答えよ。

問四 傍線部（C）について。ここに記された「間」はどのような性質を帯びた「間」か。本文中から十五字以内で抜き出して答えよ。

問五 空欄ア～ウに入るべき同じことばを本文中から二字以内で抜き出して答えよ。

問六 空欄エに入るべきことばを、本文中から四字で抜き出して答えよ。

問七 傍線部（D）について。「これ」が指す内容を、本文中から二十五字以内で抜き出して答えよ。

問八 傍線部（E）について。「こうした」が指す具体的な内容を本文中から二十五字以内で抜き出し、解答欄の「」内を補充する形で答えよ。

※以上で問題は終了です。

模範解答

問八	問七	問六	問五	問四		問三		問二	問一
い	う	む	価	た	な	ろ	ふ	む	① 敏感
表	か	間	値	だ	い	いろ	と	なし	② 反応
舞		「		あ	か	考	立ち	いと	③ 映像
台		」		る	の	え	止ま	じる	④ 情報
と		い		だけ	違	たり	って	こと	⑤ 確実
の		う		とい					
一		も		いう			自分		
大		のを		「			を		
き		知り		間			見		
な		、					つ		
ギ		それ					め		
ヤ		に					たり		
ッ		どう					あり		
ブ		向き					、		
		合					い		